

○法令等

○市の施策・方針

○保護者・地域の願い

○児童の実態

学校教育目標

『人間尊重を基盤とし、豊かな心とたくましい体を持ち、自ら学びを創造する子どもの育成』

○「は」つらつ元気な子 (体)

- ①青空の時間は外遊び
- ②元気なあいさつ「おはようございます」
- ③しっかり返事「はい」

○「ル」ールをまもる子 (範)

- ①もくもく清掃
- ②くつ揃え
- ③廊下・階段の歩行

○「お」もいやりのある子 (徳・コミュニケーション)

- ①素直な気持ち「ごめんなさい」
- ②感謝の気持ち「ありがとう」
- ③進んでゴミ拾い

○「か」んがえる子 (知)

- ①話を目と耳と心で聞く
- ②自分の考えを発表
- ③(自分で決めた)「努力の水」をためる

全教職員の総力を結集して、子どもに「力」をつける

学校は勉強をするところ

—基礎学力の保証—

- 認めて、ほめて、伸ばす指導
- 習得型の授業 (読み、書き(漢字)、算(計算)は、学校で習得させる。)
- ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業
- 特別支援教育の理論を学び、一人ひとりの児童への対応力を向上
- 日々の実践に役立つ研修 (算数を窓口。基礎学力向上、特別支援教育の視点から)

学校は友だちと仲よく
するところ

—自己指導能力の育成—

学校は安心・安全なところ

—全ての教育活動の前提—

- 安全点検と修繕
- 安全 (交通、不審者対応等) 指導
- 保健管理・保健指導
- 給食・アレルギー対応
- 児童の心のサポート
- 教職員事故等の防止



「わかった、できた、伸びた、もっとやりたい！」

—自己有用感、自己有能感の向上—

⇒自分を大切にできる子だけが、他人を大事にできる。

チーム春岡

(教職員のよき、得意分野を生かす。

明るくあたたかい雰囲気)

保護者、地域の支え

- スクールサポートネットワーク (PTA、学校評議員、チャレンジスクール、各種ボランティア 等)